

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年5月14日(月)～5月20日(日)〔平成24年第20週〕の感染症発生状況

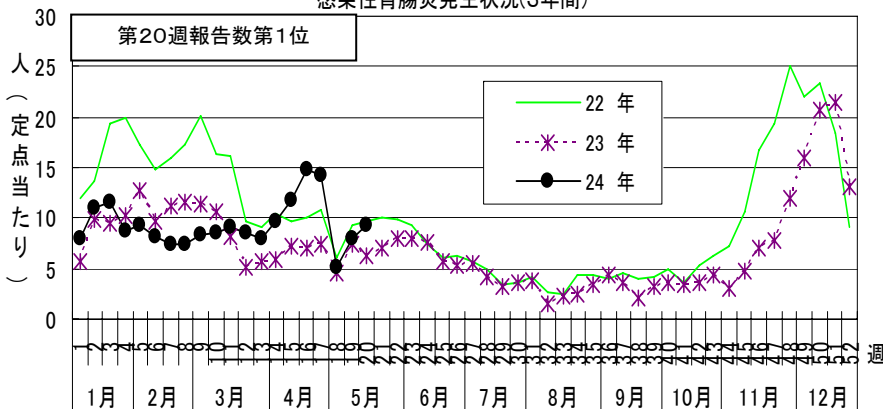
第20週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり9.39人と前週(8.06)より患者報告数は更に増加し、過去10年間の同時期と比較して、平成22年に続き2番目に多い報告数となっています。

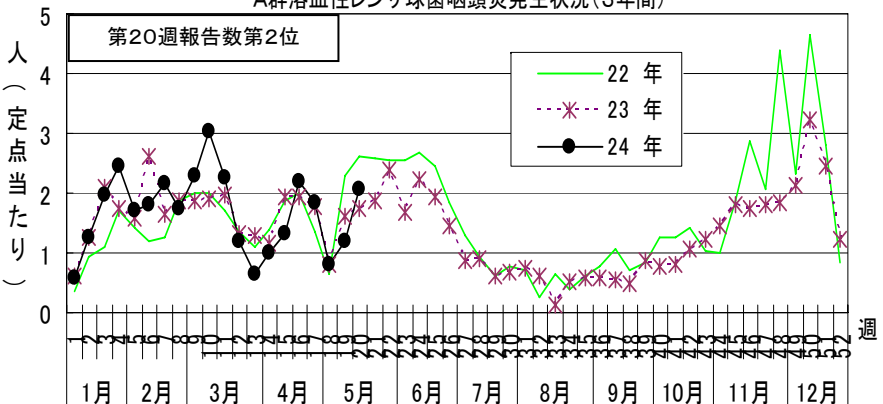
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.06人と前週(1.18)より患者報告数は増加していますが、例年と比較すると低いレベルで推移しています。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件(推定感染経路:経口感染、感染地域:日本国内)ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



～手足口病に気をつけましょう～

手足口病は、その名のとおり、手、足及び口などに現れる水疱性の発疹を主症状とする急性ウイルス性疾患で、例年乳幼児を中心に夏季に流行します。高熱が続くことはあまりなく、基本的には数日間のうちに治癒する予後良好の疾患です。ただし、まれに髄膜炎などの合併症状を起こし、重症化することがありますので油断は禁物です。



川崎市においては、今のところ流行の兆しは見られませんが、右下のグラフのとおり、例年は6月頃から流行が始まります。そのため、今後、手足口病の発生動向に注目する必要があります。



気をつけたいこと！！

- ①手洗いの徹底及び便などの排泄物の適切な処理が予防対策の基本です。
- ②口の中に発疹ができると、痛みにより飲食できなくなることがあるので、脱水症に注意しましょう。
- ③症状が回復した後も、1か月程度ウイルスが便中に排泄されることがあるので注意しましょう。

川崎市内の手足口病発生状況

